

西暦 2025年01月08日作成

## 研究に関する情報公開について

下記の研究は、福岡大学人を対象とする研究倫理審査委員会から承認され、病院長の許可を得て実施するものです。  
インフォームド・コンセントを受けない場合において、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第4章 第8.1に基づき、以下の通り情報公開いたします。

研究課題名	術後疼痛管理チーム回診から見てきた福岡大学病院における術後悪心・嘔吐（PONV）対策
研究期間	病院長の許可日 ～ 西暦 2026年03月31日
研究責任者	薬剤部 教授 神村 英利
試料・情報の収集期間	<input type="checkbox"/> ：新たな情報を取得する場合 病院長の許可日 ～ 西暦 年 月 日 <input checked="" type="checkbox"/> ：既存試料・情報を利用する場合 ■後向き期間：西暦 2022年09月01日 ～ 西暦 2023年02月28日 <input type="checkbox"/> 前向き期間：病院長の許可日 ～ 西暦 年 月 日
研究対象者	2022年9月から2023年2月までに、福岡大学病院で手術を施行し、術後疼痛管理チームの回診を受けられた方
研究の意義と目的	PONV（術後悪心・嘔吐）は、麻酔関連合併症の中で最も頻度が高く、時に術後疼痛よりも耐え難いと訴える患者もいるほど、患者満足度を著しく低下させます。 福岡大学病院 では、2022年9月に術後疼痛管理チームを発足し、術後患者の疼痛コントロールおよび副作用管理に対する介入を行っています。そこで、術後疼痛管理チーム回診を通して、当院におけるPONVの発現状況を把握し、その要因分析をすることでPONVの対策を検討することを目的としました。
研究の方法	2022年9月から2023年2月までに、福岡大学病院で手術を施行し、術後疼痛管理チームの回診を受けられた方を対象に、カルテ調査を行います。そこからPONVの発現状況を把握し、さらにPONV発現群と非発現群に分けてその要因分析を行います。
研究に用いる試料・情報	【情報】：診療録、検査データ
試料・情報の提供先	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
試料・情報の提供元	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
情報管理責任者又は名称	薬剤部 教授 神村 英利
研究のための試料・情報を利用する者	本学：人を対象とする研究倫理審査委員会承認され病院長から許可された研究者 他施設：各施設の倫理委員会で承認され研究機関の長から許可された研究者
個人情報の保護	収集した試料・情報は、匿名化（どのデータが誰のものか分からなくすること）した上で本研究に利用します。国が定めた倫理指針に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
研究協力の任意性と撤回の自由	この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究に参加を希望されない方（患者さん自身がすでに亡くなられている場合にはそのご家族）は下記の問い合わせ先へご連絡ください。患者さんの試料・情報を本研究に利用しません。ただし、

	<p>ご連絡を頂いた時点で、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、試料・情報を削除できないことがあります。不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記の問い合わせ先までご連絡ください。この研究への試料・情報の利用を断っても、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。また、患者さんのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。</p>
試料・情報の利用または他の研究機関への提供の停止について	<p>患者さんまたはその代理人のご希望により、患者さんが識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止することができます。試料・情報の利用または提供の停止を希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。</p>
問い合わせ先	<p>所属：福岡大学病院 薬剤部</p> <p>担当者名：神村 英利</p> <p>電話番号：092-801-1011</p> <p>対応可能時間：平日8:30-17:30</p>